

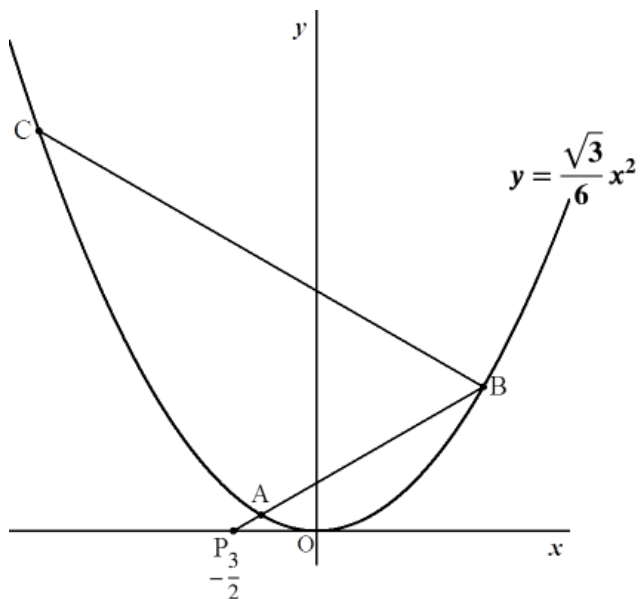
芸術的な高校入試第 45 回

美しさ：★★★★★☆☆

難易度：★★★★★☆☆

出典：2020 年度 開成高校（高校入試）

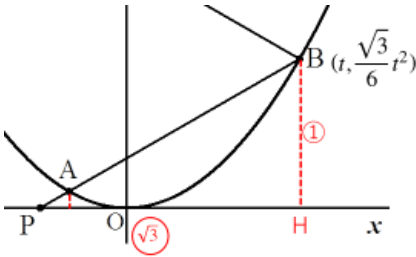
O を原点，P の座標を $(-\frac{3}{2}, 0)$ とする。下図のように， $y = \frac{\sqrt{3}}{6}x^2$ のグラフ上に 3 点 A, B, C がある。ただし， $\angle OPA = \angle OPB = 30^\circ$ ， $\angle ABC = 60^\circ$ である。このとき，次の問いに答えよ。ただし，(1) から (3) までは答えのみ書くこと。



- (1) 3 点 A, B, C それぞれの座標を求めよ。
- (2) 3 点 A, B, C を通る円の中心の座標を求めよ。
- (3) 点 B を接点とする (2) の円の接線の式を求めよ。
- (4) $y = \frac{\sqrt{3}}{6}x^2$ のグラフ上にも (3) で求めた直線上にある点は，点 B のみであることを証明せよ。

【解答解説】

(1) (2点×3)



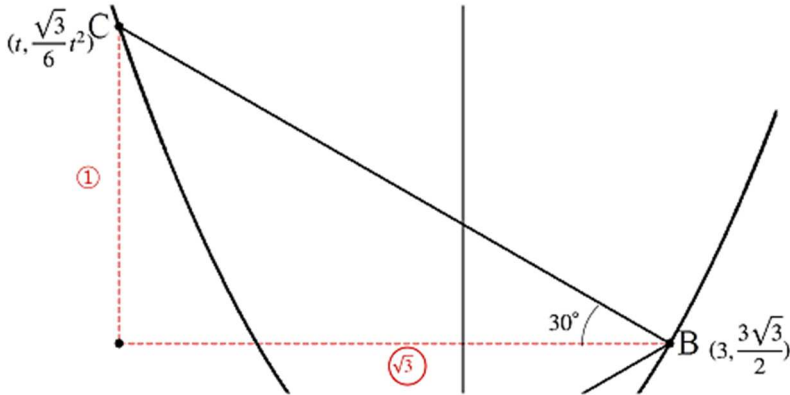
$\angle OPA = 30^\circ$ なので、B から x 軸に垂線を下ろし交点を H とすると、

$$PH : BH = \sqrt{3} : 1$$

$$\left(\frac{3}{2} + t\right) : \frac{\sqrt{3}}{6} t^2 = \sqrt{3} : 1$$

$$\frac{1}{2}t^2 = \frac{3}{2} + t \quad t^2 - 2t - 3 = 0 \quad (t-3)(t+1) = 0 \quad t = 3, -1 \quad \mathbf{B\left(3, \frac{3\sqrt{3}}{2}\right)}$$

同様に、点 A は $t = -1$ なので、 $\mathbf{A\left(-1, \frac{\sqrt{3}}{6}\right)}$

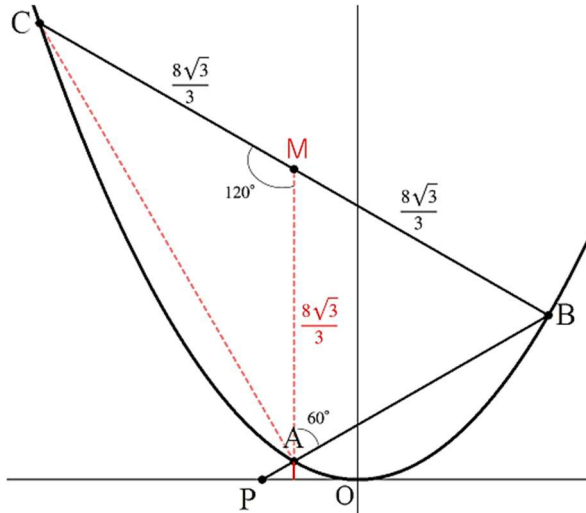


$$\text{図より, } (-t+3) : \left(\frac{\sqrt{3}}{6}t^2 - \frac{3\sqrt{3}}{2}\right) = \sqrt{3} : 1 \quad -t+3 = \frac{1}{2}t^2 - \frac{9}{2}$$

$$t^2 + 2t - 15 = 0 \quad (t-3)(t+5) = 0 \quad t = 3, -5 \quad t < 0 \text{ より, } \mathbf{C\left(-5, \frac{25\sqrt{3}}{6}\right)}$$

(2) (5点)

円の中心は、2つの弦の垂直二等分線の交点であるから、ABやBCの垂直二等分線を引こうとしてみる。すると、ここまで物凄く綺麗に図を描いたり、勘があれば、BCの midpointのx座標が、Aのx座標と一致することに気づく。



すると、 $\angle MAB = \angle ABM = 60^\circ$ であるから、 $\triangle ABM$ は正三角形。

MはBCの midpointなので、 $M\left(-1, \frac{17\sqrt{3}}{6}\right)$ $AM = \frac{8\sqrt{3}}{3}$ となり、

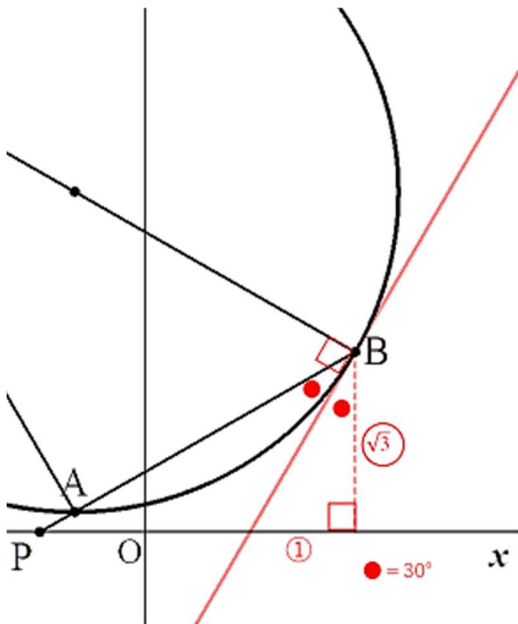
$BM = CM = \frac{8\sqrt{3}}{3}$ $\triangle MAC$ は二等辺三角形、 $\angle MAC = 30^\circ$ となるから、 $\angle BAC = 90^\circ$ となる。

※または、勘や物凄く綺麗な図で「 $\angle BAC = 90^\circ$ だな」と思い、 $\angle BAC = 90^\circ$ であることを傾き×傾き $= -1$ 等で確認するか、 $\triangle ABC$ の各辺の長さを出して確認するか、またはもう突き進むかすればよい。

よって、3点A, B, Cを通る円は、BCが直径となるので、円の中心の座

標は $\left(-1, \frac{17\sqrt{3}}{6}\right)$

(3) (5点)



円の接線と、直線 CB は垂直に交わるので、左図のように、 30° がたくさんできる。

接線の傾きは、 x の増加量が1、 y の増加量が $\sqrt{3}$ と分かるので、傾きは、 $\sqrt{3}$ $B\left(3, \frac{3\sqrt{3}}{2}\right)$ を通るので、接線の式は、

$$y = \sqrt{3}x - \frac{3\sqrt{3}}{2}$$

(4) (4点)

$$\begin{cases} y = \frac{\sqrt{3}}{6}x^2 \\ y = \sqrt{3}x - \frac{3\sqrt{3}}{2} \end{cases}$$

この連立方程式を解くと、グラフと円の接線との

交点が求められる。

$$\frac{\sqrt{3}}{6}x^2 = \sqrt{3}x - \frac{3\sqrt{3}}{2} \quad x^2 = 6x - 9 \quad x^2 - 6x + 9 = 0 \quad (x - 3)^2 = 0$$

$x=3$ 解が点 B の x 座標である $x=3$ しか存在しないので、

$y = \frac{\sqrt{3}}{6}x^2$ のグラフ上にも (3) で求めた直線上にある点は、点 B のみである。

【コメント】

高校数学，数 2B 履修後だと，計算パワーに頼りたくなりますが，中学生らしい解法ができる問題です。

高校生でも，数 2B 習っている間（直線と式の分野あたり）に，1 度解いておくとよいかもしれません。大学入試においても，有名角度が出てくる問題は，計算パワーももちろん良いですが，中学生らしく解くと楽できることがあります。

【作成】

高校入試 数学 良問・難問 <https://hokkaimath.jp/>